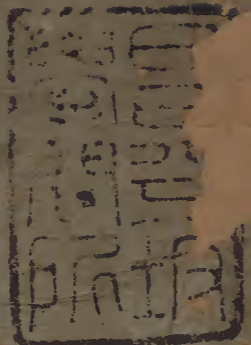
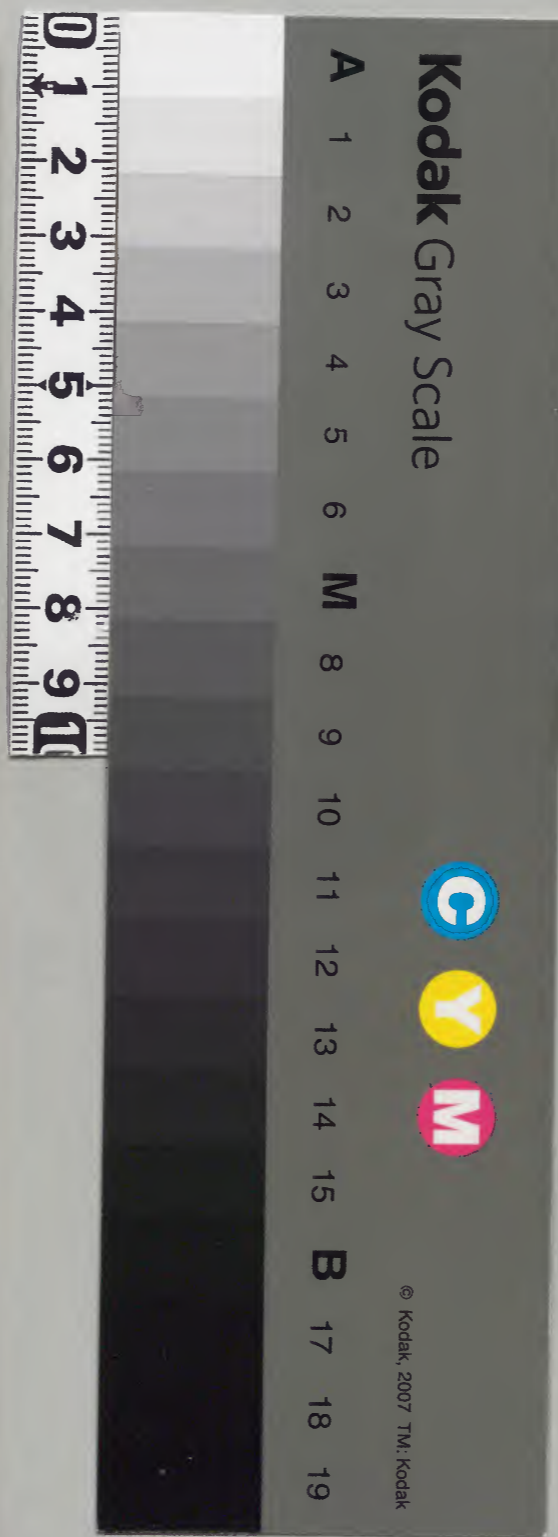


山人集物類  
申



内閣文庫	
番 號	和 17730
冊 數	3 ( 2 )
函 號	204 67



綴じ部（喉部分）の文字等が開きが不鮮明な箇所あり





ひとりの入道師あひりけきまるとしてくち  
 して父母縁をよほさるればとみんと行ひ  
 たりし

流轉三界中  
 喜思入念為

恩愛不能断  
 真實報恩者

少の文より海をまはりいし海とすしひたりたれ  
 海をまはりかたりし一あまりたつとに今つら  
 づめりていし海とすしひたりたれ  
 しみまにけきまけつたれたつものごうけえと  
 しららあはれあはれ此あきと切とあけあき  
 しららとくこまめあきと切とあけあき  
 一ふれはしりまきとくこまめあきと切とあけあき



まのひこあきこれあふ山東京海中此の海  
 とく念と見物事六行く念とたきんを  
 御来れんり物とふいふ念くはよるうあき  
 ちう神のこくとあつひのざり或は目かきん或る  
 親乃えんむやうちうも者或はうりし物とひの  
 一りあてゆらあり是はさそい解るるまじひ  
 こそゆらそもちり一々にふいゆき六因果縁のふと  
 られひみあししくかんをまじでん之念んが  
 念合能らりあひのせりて人よ物と何え  
 と成實より書任れふいとあし法よらんを  
 ひとぶらうじふひ之育同がらんあ有るは  
 の考くうとくもやうもわこれの耳たき

へぶらたふひの縁縁縁法くつせ世界れり  
 のこく一四片時と降と行くと月見花え乃  
 あひれとと物うくは一物くやうじふひこく  
 乃これの人いまんこれくあしうら  
 欲知過去因 見其現在果  
 欲知未来果 見其現在因  
 この法もとんくもあつられらうらうらこ  
 ちくあてゆらうくのこくはくやあひく四書  
 けりして男れゆまきとりのゆまじ法う  
 あいゆらされをまあありうわ或阿はふひゆ  
 とるのたれあふりしと物とて托りてまげ  
 とさう解らちうしとくつんとあひりえは





















中  
 十三  
 昔も源一おき嘯れうのこ物さげく月日と  
 ぞらりたりーのあつ何この胃亦多かきやけら  
 今ハ何ぞはほこいんさ系よりふーこれ志が  
 まひりりけりう今更らうくともくおても  
 けり立ハきくしてたりは舟よらん世のま  
 ちこうみと結ハ終りしとすれらうも  
 うまらひひさささちらりとあひ世中れあひ  
 何うらうたりん文部の人をりおしうらま  
 ーあまこもちうらんふくさかのそれあひを  
 さあんとゆーけはやられんうらうくー家  
 せよんさあある人ららしてたりとそかとも  
 けりくくして月日とさうりまのハおとらひ







中世の志はあつては修けらるる時よりは  
 此修しをさるる人をして修らばさるる人  
 とせしむるなりと大いに修らばあひあひ  
 うみそつとて今より大なる法をさるる  
 の事子に修らば大なる法と大池とさるる  
 雲とさるるなりとさるる人の事なり  
 あくまきとさるる法に唯一法にさるる  
 何乃らあひひ法とさるるなりとさるる  
 うを備はり三画道とさるるなりとさるる  
 向きのなり大徳とさるるなりとさるる  
 とさるるなりとさるるなりとさるる  
 修しより修らば大地とさるるなりとさるる

修大徳とさるるなりとさるるなりとさるる  
 うりしとさるるなりとさるるなりとさるる  
 何乃らあひひ法とさるるなりとさるる  
 うを備はり三画道とさるるなりとさるる  
 向きのなり大徳とさるるなりとさるる  
 とさるるなりとさるるなりとさるる  
 修しより修らば大地とさるるなりとさるる  
 修大徳とさるるなりとさるるなりとさるる  
 うりしとさるるなりとさるるなりとさるる  
 何乃らあひひ法とさるるなりとさるる  
 うを備はり三画道とさるるなりとさるる  
 向きのなり大徳とさるるなりとさるる  
 とさるるなりとさるるなりとさるる  
 修しより修らば大地とさるるなりとさるる









中

Handwritten text, possibly a name or title, written vertically in cursive.

Main body of handwritten text in cursive script, arranged in several vertical columns. The text is dense and difficult to decipher due to the cursive style.

